



福島県議会議員

2019. 春号 VOL.8

# 鳥居さくや 県政報告

と り い

所属会派 県民連合議員会 〒960-8670 福島市杉妻町16 発行:鳥居さくや

鳥居さくや事務所

県政・行政相談は  
お気軽にどうぞ!

TEL.0246-38-7016  
FAX.0246-38-7017

平成最後の県議会、2月定例会が開催されました。その節目となる県議会において一般質問の機会を頂きました。平成という時代、数えますと、定例会121回、臨時会17回、そして、今議会が138回目の議会ということでもあります。明治、大正、昭和、平成と多くの先人、先輩たちが築き上げてきた、この県議会の歴史、伝統を大事にしながら、新しい時代に適応した、新しい県議会の構築も、我々世代に課せられた大きな宿題であります。引き続き、皆様のご指導をお願いします。今回の県政報告では、2月定例会の総括、私がした質問の内容、平成31年度当初予算での、重要事業などをお知らせします。時間がある時にでも、目を通して頂ければ幸いです。



## 2月県議会定例会

2月定例会は、平成30年度一般会計補正予算と平成31年度当初予算の審議を同時に行われます。

今議会で、平成30年度予算が、1,139億9,200万円の減額補正で可決され、平成30年度予算累計額は、**1兆3,489億8,800万円**と確定しました。

また、平成30年度の当初予算は**1兆4,472億円**であり、当初予算額のうち、約**1,000億円**が消化されなかった事実をしっかりと検証すべきであります。また、平成31年当初予算額は、

**1兆4,603億2,800万円**で可決成立しました。

しかし、一般財源の総額の確保は厳しい状況にあり、多額の財源不足が見込まれます。このため、「**原子力災害等復興基金**」をはじめとした各種基金を取り崩して、財源を確保した予算であります。今後、ますます厳しくなる歳入、財源の確保は、県政にとって重大な課題であります。

### 当初予算財源

県税	2,278億6,100万円
地方消費税清算金	738億3,200万円
地方譲与税	334億8,000万円
地方交付税	2,746億7,300万円
国庫支出金	3,188億7,000万円
繰入金	2,504億1,700万円
県債	1,389億7,200万円

## 平成31年度当初予算主要事業

### ★人口減少・高齢化対策プロジェクト

#### しごとづくり・しごとを支える人づくり

##### 高齢者就業拡大支援事業 34,883千円

県内企業において人手不足が顕在化していることから、サービス業等の人手不足分野や介護・育児等の現役世代を支える分野での高齢者の就業を促進する。

#### 新しい人の流れづくり

##### 安心空き家取得促進事業 2,200千円

空き家の売買に係る不安を取り除き、その流通を促進するため、市町村の空き家バンクに登録されている(登録される)住宅の既存住宅状況調査に対し、補助金を交付する。

### ★心身の健康を守るプロジェクト

#### 県民の健康の保持・増進

##### 障がい者の社会参加促進事業 19,513千円

障がい者の芸術文化活動の推進や民間の力を活用した普及啓発活動に取り組み、障がいや障がい者への県民の理解を深めることで障がい者の社会参加を促進し、障がい者が生き生きと暮らせる社会の実現を目指す。

##### ふくしま”食の基本”推進事業 29,210千円

生活習慣病の発症・重症化予防のため、バランスの良い食事(主食・主菜・副菜)に減塩を加えた「主食・主菜・副菜」+「減塩」をふくしま”食の基本”とし、普及啓発、食環境の整備、人材育成を行うことにより、県民の食行動や栄養摂取状況の改善を図る。

### ★子ども・若者育成プロジェクト

#### 日本一あしんして子供を産み、育てやすい環境づくり

##### 地域で支える子育て推進事業 10,000千円

地域の全体で子育てを支援する機運の一層の推進を図るため、民間団体が行う地域の子育て支援への取組や市町村が独自の創意工夫により実施する子育て支援の事業に対して補助を行う。

##### 保育所等におけるICT化推進事業 8,129千円

保育所等における業務の効率化を進め、保育士の事務負担の軽減を図るため、保育所等のICT化を推進する。

##### 病児保育促進事業 40,858千円

県内における病児保育事業を推進するため、関係機関による会議を開催するとともに、受入施設の整備促進を図る。

##### 福島県不妊治療等体制強化事業 43,362千円

福島県立医科大学における不妊治療を充実させるとともに、福島県立医科大学に「不妊専門相談センター」を設置し、赴任や不育で悩む方々の相談に専門医等が対応できる体制を整備し、安心して子どもを生み、育てられる環境づくりを行う。

### ★農林水産業再生プロジェクト

#### 農業の再生

##### スマート農業加速化実証プロジェクト 2,618千円

農業の成長産業化に向け、実用化を目指すロボット、AI等の先端技術を活用した「スマート農業」の技術やノウハウを有する民間企業等と連携して、水田農業を中心としたスマート農業の実証に取り組み、スマート農業の導入の効果を検証する。

##### 地域をつなぐ農村交流活動事業 10,800千円

中山間地域において、地域外と連携して地域の協働活動を行い、農村環境の保全、地域コミュニティを維持するとともに、交流を通じた地域の活性化を図る取組を支援する。

#### 水産業の再生

##### ふくしま水産バリューチェーン推進事業 4,500千円

沿岸漁業の水揚げ拡大と本格操業の再開を図るため、産地と消費地が連携して水産バリューチェーン全体で生産性向上の取組や産地市場の流通機能強化を図る取組を支援する。

### ★中小企業等復興プロジェクト

#### 県内中小企業等の振興

##### ふくしま事業継承等支援事業 1,077,454千円

経営者の高齢化や後継者の不在など、事業継承の課題を解決するため、事業者の様々な課題・ステージに応じた施策を用意し、県及び関係機関が一体となった支援を行う。

##### ものづくり企業のAI/IoT活用促進事業 5,823千円

ものづくり企業のAI・IoT活用による生産性向上や新製品開発を促進するため、ハイテクプラザに整備したAI・IoT実証設備群を活用し、企業の技術開発や技術習得、実証実験等を支援する。

### ★新産業創造プロジェクト

#### 再生可能エネルギーの推進

##### 水素エネルギー普及拡大事業 449,300千円

福島新エネ社会構想の取組の柱の一つである「水素社会実現のモデル構築」に向けて、県内における水素ステーションの導入、FCV(燃料電池自動車)等の導入の推進を図る。

### ★風評・風化対策プロジェクト

#### 観光誘客の促進・教育旅行の回復

##### ふくしま外航クルーズ船誘致促進事業 6,690千円

小名浜港及び相馬港にクルーズ船を誘致し、福島県の観光、体験、インフラツーリズムなどを取り入れたモニターツアーを実施することにより、風評被害の払拭と地域振興を図る。

# 平成31年2月県議会定例会 一般質問

## そして、挑戦

### 質問1 県政運営について

福島県知事選挙において、知事が、握手し、言葉をお交わした多くの県民の声、感じた思いを、今後の県政に、しっかりと反映させていかなければいけません。そこで、知事は、今回の知事選挙を通じて受け止めた、県民の思いに、どのように応えていくのか。

### 知事答弁

「日本と比べれば福島、と言われるような、日本を代表する県になってほしい。」福島の未来について、目を輝かせながら語る若者の夢、福島の再生という県民の希望を叶えるために必要なことは「挑戦」であり、「生まれ」「学び」「働き」「暮らす」ことの幸せを実感できる「新生ふくしま」の創造に全力を注いでまいります。

## 情報と実行

### 質問2 インフルエンザの予防について

福島県において、本年に入り、インフルエンザの患者数が、過去10年で、最多となっており、

幼稚園、小学校、受験を控えた中学校、高校と、学級閉鎖が相次ぎ、その対策が求められています。そこで、県は、インフルエンザの予防にどのように取り組んでいるのか。

### 保健福祉部長答弁

様々な広報媒体を活用し、感染予防の注意喚起を行っております。引き続き予防の徹底に取り組んでまいります。

## 楽しみながら健康づくり

### 質問3 健康づくりの、重要性について

健康に必要なものを、県は、食運動、社会参加と3本柱を、かかげていますが、その各々で、楽しむこと、笑うことも大切な要素であります。

### 保健福祉部長答弁

イベントなど様々な機会を捉えて、健民プロジェクト大使による情報発信を一層強化してまいります。

## 海岸ごみ対策…着実に進んでいます

### 質問4 海岸漂着ごみ対策について

海岸ごみ、海洋ごみは、福島県だけの問題では、ありません。日本、世界が一つになって、取り組まなければならない、大きな問題であります。しかし、各々が、おのおの、責務を果たすこと、これこそが、地球環境を守る、海を守る、第一歩であります。そこで、県は、海岸漂着ごみの対策にどのように取り組んでいくのか。

### 生活環境部長答弁

漂着ごみの現状調査や沿岸自治体等の関係者へのアンケート調査を行い、対策を総合的かつ効果的に推進するための計画を、現在作成しております。

計画においては、重点的に対策を講ずる区域を設定し、漂着ごみの処理や発生抑制に関する施策、関係者の役割分担等を盛り込むこととしており、引き続き、市町村や民間団体等と連携しながら、良好な海岸環境の保全に取り組んでまいります。

## まずは現場に行くことが大事

### 質問5 おもいやり駐車場の適正利用について

本場に、必要とする方が、利用できるよう、県としても、積極的に、取り組むことが、必要であると考えます。

### 保健福祉部長答弁

制度の趣旨の周知・啓発や期限切れ利用証の回収、さらに今年度からは障がい者団体と協力し商業施設での実態調査と注意喚起を行っております。



## 皆さんで、広げましょう!!

### 質問6 「泣いてもいいよ、ステッカー」について

「もし、泣き出したら、騒いだら、そんな思いを、頭に抱きながら、外出、外食する、お母さん、お父さん、がいます。一度でも、注意されると、それからの行動

が、制限されかねません。行きたいの、行けない、連れていきたくないの、連れていけない。外出すること、外食することに臆病になるお母さん、お父さん、たくさんいます。子どもが泣いてもいい店、泣いてもいい場所、これらを明確にして頂けたら、どれほど、心強いことか。その為にも、公共の場所で、泣いてもいいことを表示する「泣いてもいいよステッカー」の取り組みを、頂ければ、と思います。これは、子育てに奮闘している、お母さん、お父さんの切実なる声であります。

### 保健福祉部長答弁

そこで、県は、泣いてもいいよ、ステッカーについての取組を、どのように、促進していくのか。

### 子ども未来局長答弁

今年度においても、イベントを通じた啓発等を行うほか、県内企業・団体等に働き掛け、ステッカーを活用した子育て応援に取り組んでまいります。

## 子供に読書習慣を

### 質問7 子どもの読書活動の推進についてであります

子どもにとって、本がより身近なものとなる為、本が好きになる為の施策を、進めていくことが重要であります。

### 教育長答弁

専門家からの意見を踏まえて、読み聞かせなどの発達段階に応じた効果的な取組や、友人同士で本を薦め合うなど読書への関心を高める取組を盛り込んだ第四次子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んでまいります。

## 積年の課題…一歩ずつ

### 質問8 障子川の堆積物の除去について

地域の環境改善と、洪水からの安全・安心が、確保されるため

### 土木部長答弁

蛭田川の合流部から上流約四百五十メートル区間について、現地の状況を確認しながら、堆積物の除去に取り組んでまいります。

## 水を守ることは命を守ること

### 質問9 水道事業の基盤強化について

少子高齢化社会の到来による、給水人口の減少や、水道施設の老朽化、水道事業に、携わる技術職員の減少など、水道を取り巻く経営環境は、急速に、厳しさを増しています。

### 保健福祉部長答弁

今年度の夏ごろまでに国から示される見込みである水道の基盤強化のための基本方針及び改正水道法の政令や省令等を踏まえ、今



## SNSは諸刃の剣であります

### 質問10 警察行政について

子どものSNS犯罪被害を、未然に、防止するためには、若い世代に対し、SNSに潜む、危険性、適正な利用方法についての、指導を一層、強化していく必要があります。

### 生活安全部長答弁

学校等と連携を図り、児童・生徒の被害防止意識を高めるため、「情報モラル教室」を開催しております。また、販売事業者にフィードバックの普及促進を要請したり、いわゆる自撮り画像を要求する行為を規制する改正福島県青少年健全育成条例の周知に努めているところであります。こうした取組を通じ、SNS等利用による犯罪被害の防止を図ってまいります。

## きになる作品を、是非!

### 質問11 障がい者の芸術文化活動について

障がい者の社会参加と、理解促進のためには、才能、作品の発掘や、理解者を増やす取組など障がい者の芸術文化活動を総合的に支援し、活性化していく必要があると考えます。

### 保健福祉部長答弁

障がい者芸術作品展、第一回、「きになるひょうげん展」を観に行きました。まさに、「きになる」作品がありました。しかし、この作品展への来場者は、思いのほか少なく、非常に残念な思い

## 四方山話

今回、質問で取り上げた、「泣いてもいいよステッカー」ですが、14県で、その取り組みを、その地域の方言を使って応援しています。例えば、福島県ですと、「泣いてもさすけね!」高知県では、「泣いたち、がまんきね!」広島県ですと、「泣いても、ええんよ!」などなどです。11月22日、いい夫婦の日の3日前、11月19日を「良い育児の日」として、日本記念日協会に登録されました。子供を応援することは、子育てに奮闘しているお母さん、お父さんを応援することです。このシールにご協力してください。一緒に頑張ってくださいませ!